

やませみ 通信



<http://www.okitsu-yamasemi.net/>

(やませみは興津川の清流のシンボルです)

快晴の中「興津川鮎釣り教室と川遊び」



NO. 46

令和6年3月

〈令和5年度の活動〉

- 4月 春の市民の森づくり
- 6月 令和5年度総会
- 7月 夏の市民の森づくり
(中止)
- 7月 鮎釣り教室と川遊び
- 8月 川の生きもの観察会
- 9月 クリーン作戦
- 11月 森林探検隊
- 12月～ 嶺の子山荘の復旧

目次

- 1 興津川鮎釣り教室と川遊び
- 3 春の市民の森づくり
- 5 興津川非出資漁業協同組合
の自然体験教室
- 7 鮎のつかみ取り体験教室
の開催
- 8 川の生きもの観察会
- 9 秋の森林探検隊
～参加者の声～
- 10 サイエンスピクニックに
参加し、市民会議をPR!

興津川鮎釣り教室と川遊び

興津川保全市民会議 事業委員長 望月 誠一郎

久しぶりの鮎釣り教室の開催

近年は天候や河川の状態が悪く、なかなか開催できなかった興津川保全市民会議の「鮎釣り教室と川遊び」を7月22日の快晴のなか、40人の参加者により行われました。

開催場所は、清水両河内中学校横の両河内橋下の広場を拠点としました。

開会式は、最初に望月事業委員長が挨拶を行い今日一日のプログラム、参加者及び鮎釣り名人の紹介が行われました。そして、鮎の友釣りは、世界でも珍しい、鮎の習性を利用した特別な釣法であり、その仕掛けや釣り方のコツなどについて学びました

超豪華な鮎釣り名人による指導

今回の鮎釣り教室には、鮎釣り道具の専門会社の(有)ウイストの社長さんを始め、その鮎釣り倶楽部「鮎釣隊」の名人が、1家族ひとりの指導員となり、教えてくれました。

そのお陰で、何組もの参加者が鮎を釣り上げたため、興津川漁協の職員が驚いていました。

■ 暑い日差しを避けて橋の下の開会式



■ 超豪華な鮎釣り名人達が協力してくれました



■ 鮎の居場所やオトリ鮎の誘導方法を指導される



■ 野鮎がオトリ鮎に体当たりするのを待ちます



■ 市民会議の池田事業委員による実践指導



清水和田島小・中学校横の和田島キャンプ適地の河原で開催

鮎の塩焼きを食べ、清流で川遊び

鮎釣りをしてお腹が空いた後は、お弁当です。

興津川漁業協同組合の組合長が自ら焼いてくれた美味しい鮎の塩焼きをおかずに食べました。

午後は、清流の興津川で泳いだり、急流の川を慎重に歩いて向こう岸にたどり着く訓練もしました。

また、午後も鮎釣りに再挑戦する人や、短い竿を使って小さな魚を釣る人など、それぞれが自由に川遊びをして楽しく過ごしました。

■みんなが見守る中、急流の興津川を渡る訓練



■お昼のお弁当は、橋下の日陰で食べられました



■それぞれが川遊びを楽しみました



■涼しい風が通り抜ける橋下での集合写真



■興津川漁協提供による鮎の塩焼きは美味しかった



春の市民の森づくり

興津川保全市民会議 事務局

鮎の放流体験

今回の参加者は、午前8時30分に興津川中流の大網にある広場に集合しました。そして最初に、興津川非出資漁業協同組合（以後「興津川漁協」という）の協力により、稚鮎の放流体験をしました。

放流を始める前に、鮎の1年間の成長の様子や縄張りを持つ性質のこと、やさしく放流することなどのお話を聞きました。そして、稚鮎をみんなでやさしく川の中へ放しました。

■鮎の習性や稚鮎の取扱い方について学びました



■放流をみんなで一斉に行い、鮎の成長を願う



植林体験

稚鮎の放流体験の後、今度は急な坂を登り、山の中の嶺の子山荘の広場に向かいました。

広場では、参加者紹介や植林の仕方についての説明が行われました。

そして、みんなで手分けをし、苗木を持って、植林場所に行きました。それぞれが一斉に植えるための穴を掘り、1本ずつ丁寧に植え始めました。木の根本をしっかりと踏み固め、風で倒れないように添え木を立てて紐で結びつけました。最後に木の名称、家族の名前、日付を書いた板を取り付け、植えた木が大きく、元気に育つように願いました。

■最近は大きな苗木を植えるので重い！



■家族で手分けをして大きな穴を掘りました



■植えた木の前で記念写真。大きく育ててね。



稚鮎の放流体験、植林体験、竹の子掘りなど盛り沢山の活動

竹の子を掘り、竹の子汁をいただきました

今年は、竹の子が採れない「裏年」と聞いていたので、心配しました。しかし、竹の子の掘り方を教わり、竹林の中に入ると、皆さん大変上手に掘ることが出来ました。それを早速広場に持って行き、その場で直ぐに茹でていただきました。とても楽しい森づくりでした。

■竹の子が生えている様子を見ながらの掘り方教室



■教室で習ったように上手に掘り出せました



■竹の子汁づくり担当は、皮むきなどで大忙しでした



■稚鮎を放流し、木を植えて、竹の子を掘って、食べて、大忙しの楽しい一日を無事終了しました



興津川漁業協同組合の自然体験教室

興津川非出資漁業協同組合 代表理事組合長 前沢 元次

興津川漁協は、地域の子供たちが「興津川に慣れ・親しみ・楽しんで」もらうために、毎年体験学習教室の活動を続けています。

1 鮎の放流体験教室

鮎釣り解禁に合わせて行う放流をとおして、近隣の小河内小学校、両河内小中学校の皆さん

に「鮎の放流体験教室」を行って興津川と鮎に親しんでもらう取り組みをしています。

【小河内小学校：放流方法の説明（令和5年度）】

■組合員が協力し、稚アユの放流の準備をしました



■一人ひとりやさしく稚アユの放流をします



■鮎の塩焼きはいつも美味しいと喜ばれます



■稚アユの放流の前に、鮎の生態のお話もします



■稚アユの一斉放流の様子



■地元でとれたみかんやお茶も一緒に楽しめます

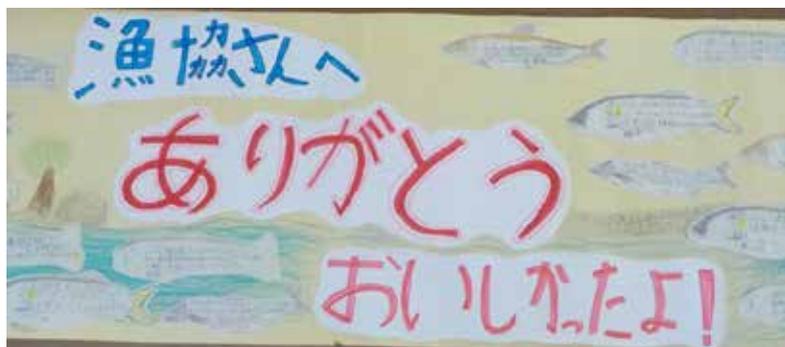


興津川流域の小・中学校の生徒達と一緒に

2 鮎の友釣り体験学習

鮎の解禁後、7月中旬に両河内小中学校7年・8年生の皆さんに「鮎の友釣り体験学習」を行い、

鮎の友釣り手法を学び・楽しんでもらう取り組みをしています。



■前沢組合長と生徒



2023年7月18日(火) 両河内小中学校7・8年生 興津川鮎釣り体験学習



■小林副組合長と生徒



鮎釣りの感想 両河内小中(7)年(1)組 氏名(石垣 楓南)

今日の鮎の友釣り体験を通して、最初は、言葉に聞かばかりでなかなか、イメージがなくて、一体どういうことをして、鮎を釣るのかよく分からなかった。でも、釣るコツや、釣り針の目印、釣り針の長さなど細かく教えていただいたことで、鮎の友釣りについて、それがどのようなものなのか、どのような感じで釣れるのか、様々なことを学ぶことができました。ただ、まだ、釣れるまでの正しい時間を最初、たいたものだったので、イメージが、実際の釣るものとは、少し違っていました。このまま、イメージを、実際に釣るまで、元に戻さず、ありがとうございます。また、いつか、釣りをしてみたいです。

鮎釣りの感想 両河内小中(8)年(2)組 氏名(白井 瑞希)

今日は、鮎の友釣り体験というとても貴重な体験をさせてくれたことに、ありがとうございます。ほんとは、少しの時間しか参加できませんでしたが、小林さんがサポートしてくださったおかげで、釣ることができました。そして、鮎の友釣りについてとても詳しく教えてくださり、ありがとうございました。この経験も、さまざまな場面でも活かしたいと思います。また、いつか、鮎釣りにもう一度チャレンジしたいと思いました。今日は本当にありがとうございました。

鮎のつかみ取り体験教室の開催

3 鮎のつかみ取り体験教室

清水生涯学習交流館の運営協議会と協力して、応募のあった皆さんと8月に「鮎のつかみどり体験」の取り組みをしています。



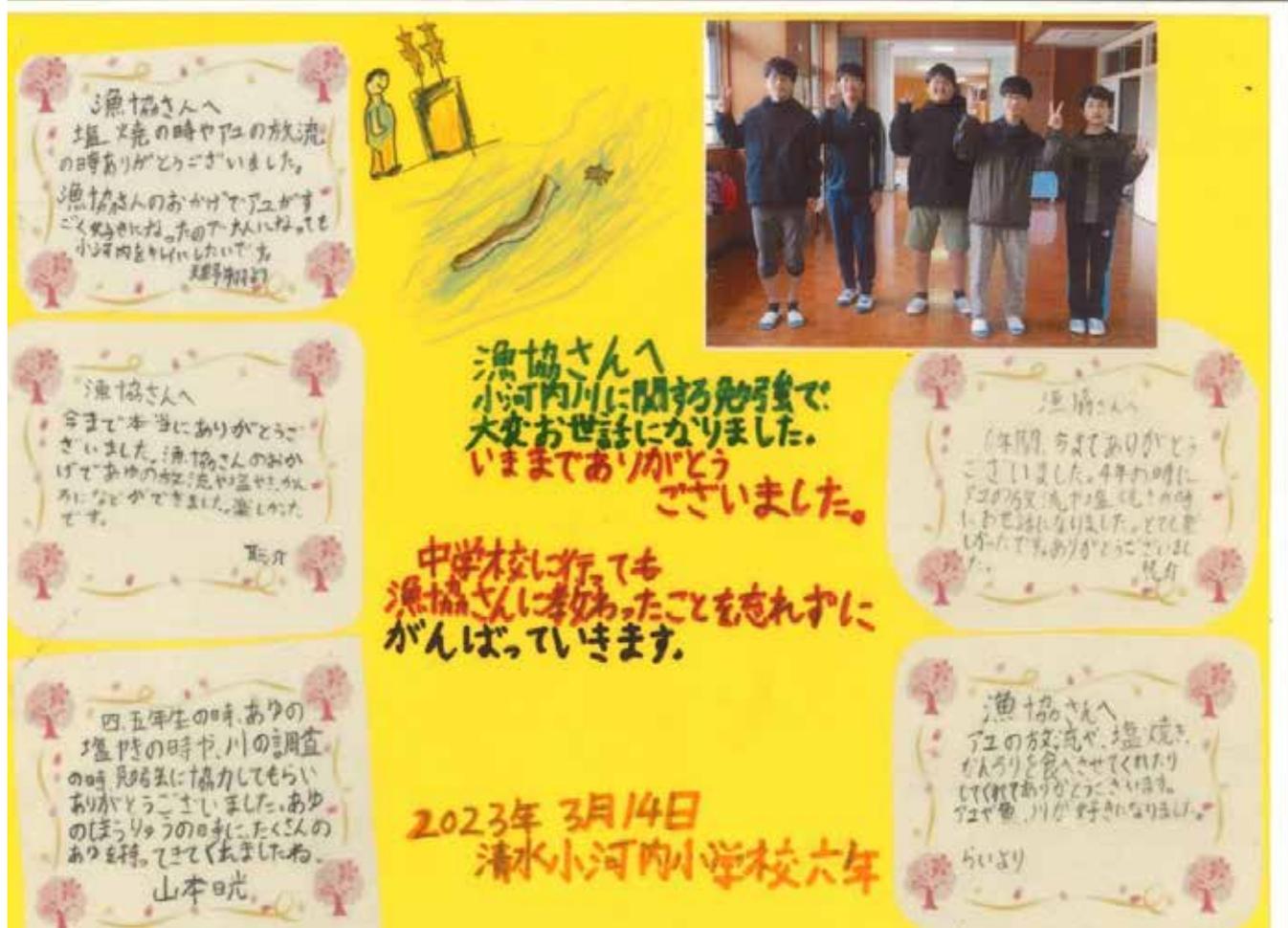
4 生徒からお礼状が届きました

令和4年度 小河内小学校6年生の皆さんから卒業のお礼状を頂きました。

小学校・中学校の皆さん、興津川で会いましょう。待ってますよ・・・・・・・・！



■小河内小学校6年生から届いたお礼状



川の生きもの観察会（水生生物採取と観察）

さすが鈴木先生！

本年も、川の生きもの観察会を鈴木邦弘先生の指導により開催しました。

今年は、直前に大水が出たためか、あまり数多くの水生生物の採取が出来ませんでした。

■採取タモと水中メガネを持ちいつも元気な鈴木先生



ところが、鈴木先生は少し上流に行って戻ってくると沢山の水生生物を採取していました。それらを観察し、生きものの学習をしました。

■鈴木先生から魚の採取タモの使い方を教わる



■こんなきれいなお魚が捕れたよ。わー、すごい！



■ヤマセミの湯の前の芝生広場で集合写真



興津川保全市民会議 事務局員 西野 真理恵

山の中を駆け巡る森林探検隊

沢登りや森の中のターザンロープ、竹の弓矢づくりと、こちらのイベント内容も盛り沢山で人気があります。毎回、しし鍋も大好評で、参加者さんが自然とお手伝いしてくれています。本当にありがとうございます。

(参加者の声)

- ・山道、沢登りでは、ケガなどしないように集中して行動し、気を抜くことが出来ません。
- ・普段の生活ではなかなか出来ない体験をした。
- ・全身で自然と向き合うことが出来て気持ち良かったです。
- ・暗闇ロープ伝い歩き体験は、歩くこと、踏みしめること、一歩踏み出すことに勇気がいりました。・・・人生と同じだ、と思いました。

■沢登りは、ロープを頼りに大きな岩を登りました



■谷川に架かる丸太橋を渡りました



■道なき道を進むのがわくわくしました



- ・森林探検隊の体験は、とてもハードなところ（サバイバル的）があり、とてもためになった。

■ターザンロープはスリルがあり、楽しかった！



■暗闇ロープ伝い歩行体験、とても長く感じました



美味しい、しし鍋

山の中を探検してきた後に、しし鍋をいただきました。

(参加者の声)

- ・しし鍋はお肉も柔らかく、沢山の野菜が入っていて、有難かったです。
- ・山の中で暖かい汁ものをいただけ、最高に美味しく幸せでした。また、おかわりも出来、贅沢そのものでした。
- ・山の恵み、猟師さんの適切な処理、命をいただくことを意識して感謝の気持ちで食べました。ごちそうさまでした。

・調理前のしし肉



・イノシシ汁鍋



■鳥獣による農作物被害とジビエ料理の紹介



■みんなで手分けをして、しし鍋の準備！



■少し寒くなった季節に、温かいしし鍋は最高！



竹の弓矢での的当て遊び

お弁当を食べた後は、竹の弓矢づくりをしました。

(参加者の声)

- ・的当ては子どもたちより大人の方が必死になり楽しみました。
- ・竹がいろいろなものに利用出来ることも知り、新しい発見がいっぱいありました。

■探険隊から帰ってきた後は竹の弓矢づくり



■竹の弓矢での的当て競争



1日を振り返って

- ・今日一日、急な山道を歩いた達成感と美味しいしし汁と石焼き芋を食べ、温かい紅茶を飲み、竹の花瓶づくりと弓矢づくりなど。沢山のメニューと優しいスタッフさん達のおかげでとても楽しい1日を過ごす事が出来ました。

食べることを通じて学ぶこと

興津川保全市民会議は、事業ごとに地元の美味しい食べ物をみなさんに提供しています。

食べることを通じ、食材のこと、調理をしてくれた方への感謝の気持ち、命をいただくことなど多くのことを学んだり感じたりして欲しいと思っています。

■参加者集合写真



サイエンスピクニックに参加し、市民会議をPR!!

楽しく興津川保全市民会議のPR

本年度も静岡科学館「るくる」主催のサイエンスピクニックに参加をして、興津川保全市民会議の活動の様子を紹介するとともに、活動への参加を呼びかけました。

作品の様子

輪切りにした木に顔を描いて作品にします。毎年、個性的な作品が生まれています。



■沢山の参加者がありました



■皆さんとても個性的な作品を創ってくれます



興津川保全活動のサポート会員募集中です！

活動は、この「やませみ通信」で紹介しているような内容です。

竹の子鍋、しし鍋、流しそうめんづくり、山での植林、川の学習や遊びの活動支援、アユ釣りや山仕事が好きの方など、特技のある方、特技はなくてもやる気のある方大歓迎です。

- 会社をリタイア（現在、今後）して、何か地域活動をしてみたいが、何ができるかわからない方など、是非一度、お試して参加してみてください。
- 年齢、男女などは問いません。

興津川保全市民会議の会員になり、「命の水」を守るため、一緒に活動してください。

法人、団体等会員 3,000 円 / 年
個人会員 1,000 円 / 年

会員へは、「やませみ通信」他、年間を通じて各種イベント、企画の案内を送らせていただきます。
また、清流のうたのCDなども特別価格にて提供します。

発行 興津川保全市民会議
編集 興津川保全市民会議 事業委員会
編集以外 地域デザイン研究所（望月）
発行日 令和6年3月

興津川保全市民会議事務局

（静岡市環境共生課内）

TEL. 054-221-1319

FAX. 054-221-1492

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1



ホームページもご覧ください <http://www.okitsu-yamasemi.net/>

編集委員からひとこと・・・

令和5年度はなんと言っても久々に「鮎釣りと川遊び」が実施できたことでした。それも多くの鮎釣り名人の指導により、沢山の鮎も釣れて良かったです。ぜひ、次も良い天候に恵まれますように。!?